

教科	受験番号
家庭	

1

「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 家庭編」「第1部 各学科に共通する教科『家庭』」、「第2部 主として専門学科において開設される教科『家庭』」に記載されている内容について、次の設問(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の各文は、「第1部」「第1章 総説」の「第3節 家庭科の目標」「第4節 家庭科の科目編成」に関して記述したものである。適切なものを次の①～⑤の中から三つ選べ。
- ① 「家庭基礎」は、標準単位数が2単位の科目である。従前の「家庭基礎」と同様、人の一生を見通しながら自立して生活する能力と、異なる世代と関わり共に生きる力を育てることを重視している。
- ② 「家庭総合」は、標準単位数が4単位の科目である。従前の「家庭総合」に比べ、乳児との触れ合いや子供とのコミュニケーション、高齢者の生活支援に関する技能、日本の生活文化等に関する内容の充実を図った。
- ③ 「家庭基礎」「家庭総合」においては、「人の一生と家族・家庭及び福祉」の導入として、生涯の生活設計を位置付けるとともに、成年年齢の引下げを踏まえ、「持続可能な消費生活・環境」において、契約の重要性や消費者保護に関する内容の充実を図った。
- ④ 「生活の営みに係る見方・考え方」に示される視点は、家庭科で扱う全ての内容に共通する視点であり、相互に関わり合うものである。例えば、家族・家庭生活に関する内容においては、主に「健康・快適・安全」、衣食住の生活に関する内容においては、主に「協力・協働」や「生活文化の継承・創造」、さらに、消費生活・環境に関する内容においては、主に「持続可能な社会の構築」の視点から物事を捉え、考察することなどが考えられる。
- ⑤ 高等学校家庭科では、自己及び家族の発達と生活の営みに必要な知識と技能を、小学校家庭科、中学校技術・家庭科の上に積み重ねて習得し、生活をよりよくするために対話的に実践できるように資質・能力を育成することを目指している。そのため、社会との関わりの中で営まれる家庭生活や地域の生活への関心を高め、生涯を見通して生活を創造する主体としての視点が重要となる。

(2) 次の各文は、「第1部」「第2章 家庭科の各科目」の「第1節 家庭基礎」「2 内容とその取扱い」のうち、「C 持続可能な消費生活・環境」に関して記述したものである。適切でないものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 持続可能な社会を見通して、自立した生活を営むために必要な生活における経済の計画や消費生活及び環境との関わり等に関する理解を深めるために、家族・家庭や福祉、衣食住等の内容と相互に関連付けながら、環境に配慮して持続可能な社会を目指したライフスタイルと生涯を見通した生活設計について考察するなど
の指導を工夫する。
- ② 家計管理については、収支バランスの重要性とともに、リスク管理も踏まえた家計管理の基本について理解できるようにする。その際、生涯を見通した経済計画を立てるには、教育資金、住宅取得、老後の備えについてのみ具体的に触れ、シミュレーションをすることなどが考えられる。
- ③ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性については、各ライフステージの特徴と課題、家族構成や収入・支出の変化、生涯の賃金や働き方、社会保障制度などと関連付けながら考えることができるようにする。
- ④ 今回の改訂においては、小・中・高等学校の系統性や成年年齢の引下げを踏まえ、「持続可能な消費生活・環境」として新たに位置付けた。さらに、国際連合が定めた持続可能な開発目標など持続可能な社会の構築に向けて、消費生活と環境を一層関連させて学習できるようにし、消費者教育の推進に関する法律（消費者教育推進法）の定義に基づき消費者市民社会の担い手として、自覚をもって責任ある行動ができるようにすることを意図している。
- ⑤ 令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられ、18歳から一人でも有効な契約をすることができるようになる一方、保護者の同意を得ずに締結した契約を取り消すことができる年齢が18歳未満までとなることから、自主的かつ合理的に社会の一員として行動する自立した消費者の育成のため、また、若年者の消費者被害の防止・救済のためにも、こうした消費生活に関わる内容についてより一層の指導の充実を図ることが必要である。

(3) 次の各文は、「第2部」「第2章 家庭科の各科目」の「第1節 生活産業基礎」に
関して記述したものである。適切なものを次の①～⑤の中から三つ選べ。

- ① 今回の改訂においては、職業人としてのマナジメント能力の育成を一層重視する
とともに、将来の職業人としての意識を高め、科目「課題研究」の主體的な学び
につながるよう、内容の改善・充実を図った。
- ② この科目は、家庭に関する学科における原則履修科目として位置付けている。
履修学年は特に示していないが、専門科目の学習の動機付けとなるという科目の
目標から、低学年で履修させることが望ましい。
- ③ 指導項目「生活産業を学ぶに当たって」の内容を取り扱う際には、この科目を学
ぶ意義や目標を理解して意欲的に学ぶための導入として扱い、社会や産業全体を
概観して課題を把握できるように指導する。
- ④ 指導項目「ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供」の内容を取
り扱う際には、商品・サービスの企画から提供していくまでに必要なマナジメン
ト能力の育成を目指して生徒が興味・関心をもち、主体的に取り組むことができ
るよう、家庭に関する専門科目と関連付けて指導する。
- ⑤ 指導項目「生活産業と職業」の内容を取り扱う際には、生徒の興味・関心を考慮
し、食生活関連分野、衣生活関連分野、住生活関連分野、ヒューマンサービス関
連分野のすべての分野を学習することが大切である。

2

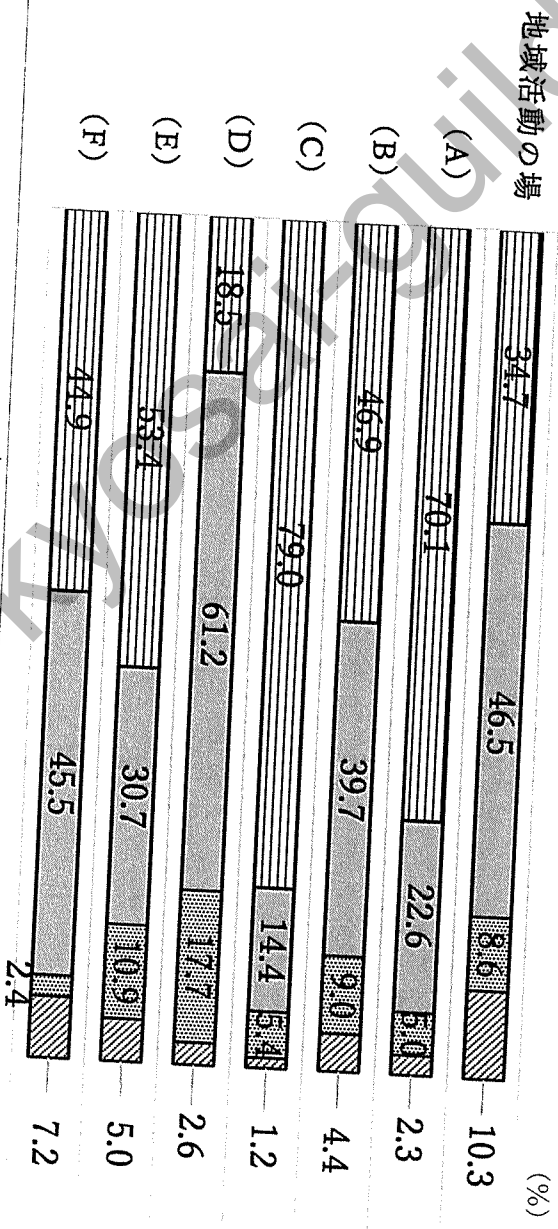
人の一生と家族・家庭に関する次の設問(4)～(6)に答えよ。

(4) 男女共同参画社会の推進にむけて施策が進んでいるが、「地域活動の場」「社会通念・慣習など」「法律や制度の上」「政治の場」「学校教育の場」「職場」「家庭生活」の分野で男女の地位に対する平等感に違いがある。次の(A)～(F)に適切な分野を選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

男女共同参画社会に関する世論調査

「それぞれの分野で男女の地位は平等ですか？」

☑ 男性の方が優遇 ☐ 平等 ☐ わからない ☑ 女性の方が優遇



内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(2019年度)」による

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
① 社会通念・慣習など	法律や制度の上	政治の場	学校教育の場	職場	家庭生活	
② 政治の場	法律や制度の上	社会通念・慣習など	学校教育の場	職場	家庭生活	
③ 政治の場	法律や制度の上	社会通念・慣習など	家庭生活	職場	学校教育の場	
④ 社会通念・慣習など	職場	政治の場	学校教育の場	法律や制度の上	家庭生活	
⑤ 社会通念・慣習など	職場	政治の場	家庭生活	法律や制度の上	学校教育の場	
⑥ 政治の場	職場	社会通念・慣習など	家庭生活	法律や制度の上	学校教育の場	

(5) 家族・家庭に関する法律について、次の(A)～(E)の説明が適切であれば○、適切でなければ×とし、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

(A) 民法において、三親等内の血族のみを親族の範囲と定めている。

(B) 2013年の民法改正において、「非嫡出子の法定相続分」が、嫡出子の1/2に改正された。

(C) 2016年の民法改正において、離婚や夫の死亡後、女性の再婚を禁止している期間が、6か月から100日に短縮された。

(D) 選択的夫婦別姓の導入について、法務省の法制審議会による民法改正案をうけ、2020年に施行された。

(E) 2022年4月1日から、女性の婚姻開始年齢が引上げられた。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	○	×	○	○	×
②	×	○	×	×	○
③	○	○	○	×	○
④	×	×	○	×	○
⑤	×	×	×	○	○
⑥	○	○	×	○	×

(6) 変化する家族構成と家族の機能について、次の①～⑤の中から適切なものを三つ選べ。

- ① 男女ともに平均初婚年齢が高くなる傾向が続き、20歳代、30歳代の未婚率が上昇している。
- ② 厚生労働省「2017年人口動態統計」によると、2017年には、合計特殊出生率が1.43となり、過去最低を記録した。
- ③ 平均寿命が急速に伸び、出生数は第1次ベビーブームを境に減少が続き、高齢化と少子化が進み人口減少社会となっている。
- ④ 2000年代の不況の中で、高齢者世帯、母子世帯、失業世帯で貧困に苦しむ例が目立ち、2015年の調査では日本の子どもの貧困率は13.9%（厚生労働省「国民生活基礎調査」による）である。
- ⑤ 2001年に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）が成立し、社会的取り組みが始まった。

3 子どもの発達と保育・福祉に関する次の設問 (7) ~ (9) に答えよ。

(7) 子どもの生活に関する内容について、次の (A) ~ (E) に適する語句を語群ア~ケから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①~⑥の中から一つ選べ。

○子どもは言語表現が未熟なため、病気の症状を伝えることが十分にできない。そのため大人がよく観察して症状を把握することが重要である。また、心臓や肺などの身体機能が未熟で (A) も弱いため重症化しやすい。

○子どもの健康管理は健康状態を見ることが始まり、発熱などの体調不良の兆候に対する観察や対応も重要である。また、日ごろの食生活の栄養面、散歩や外遊びなどの運動、計画的に (B) を受けたり、身体発育などの発育状態を把握したりすることも重要である。

○子どもに多いけいれんは、突然、全身をつっぱり、手足をがくがくと屈曲させ、眼がつり上がり意識がなくなる状態である。子どもは (C) が未熟なために、高熱になると熱性けいれんを生じやすい。

○高熱が続いたり、嘔吐や下痢を生じた場合には、(D) に陥りやすいので水分の補給が大切である。

○子どもの死亡に至る事故原因で一番割合が大きいものは、0歳児の場合は (E) である。

- 【語群】
- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|-------|
| ア | 風邪 | イ | 脱水症状 | ウ | 集団保育 |
| エ | 予防接種 | オ | 窒息 | カ | 転落・転倒 |
| キ | 免疫力 | ク | 運動機能 | ケ | 中枢神経系 |

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	ク	ウ	キ	ア	カ
②	キ	エ	ケ	イ	オ
③	ク	エ	キ	ア	オ
④	キ	エ	ケ	イ	カ
⑤	ク	ウ	キ	イ	オ
⑥	キ	ウ	ケ	ア	カ

- (8) 子どもの発達に関する内容について、次の(A)～(F)の説明が適切であれば○、適切でなければ×とし、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

- (A) 手を回す、指先で豆などの小さいものをつまむ、積み木を積むなどの手先の細かい動きのことを微細運動という。
- (B) 知的な認知能力の発達に伴って、日常的に養育者からの言語的な刺激やはたらかかけを受けながら、乳児はしだいに言葉を獲得していく。
- (C) 生後2～3日の便は暗緑色で粘り気がある無臭の便で移行便と呼ばれる。
- (D) 新生児の反射運動は原始反射と呼ばれ、このうち手のひらを指などで圧迫すると強く握りしめる反射をモロー反射といい、生後6ヶ月ころ消失する。
- (E) 子どもの精神的な健康と発達には特定の人との情緒的な結びつきが重要であり、この愛着関係はアタッチメントとも呼ばれている。
- (F) 幼児は、石や山などの無生物を含むすべてのものが、自分と同じように魂をもっていると考える。このような幼児のもっている原始的思考様式をアニミズムという。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
①	○	○	×	×	○	×
②	×	×	×	○	×	○
③	×	○	○	×	×	×
④	×	×	○	○	○	○
⑤	○	○	×	×	○	○
⑥	○	×	○	○	×	×

(9) 子どもの成長と遊びに関する内容について、次の(A)～(E)の説明に適する語句を語群ア～コから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

- (A) 子どもの成長や豊かな遊びに欠かせない、玩具、絵本、紙芝居、漫画、映画、ゲーム遊び、遊具等のこと。
- (B) 玩具安全基準に合格したおもちゃに付いているマーク。
- (C) 3～4歳頃から見られる、子ども同士で一緒に同じ遊びをするが、役割や分担がなく遊ぶこと。
- (D) 親子の相互作用が続くと、乳児は、自分をかわいがり、守り、養ってくれる特定の人として親を認識し始める。その結果、親とは違う人だとわかったときには、泣き出すような反応のこと。
- (E) 2歳を過ぎると、良い・悪いの区別なく自己を主張し始める時期のこと。

【語群】

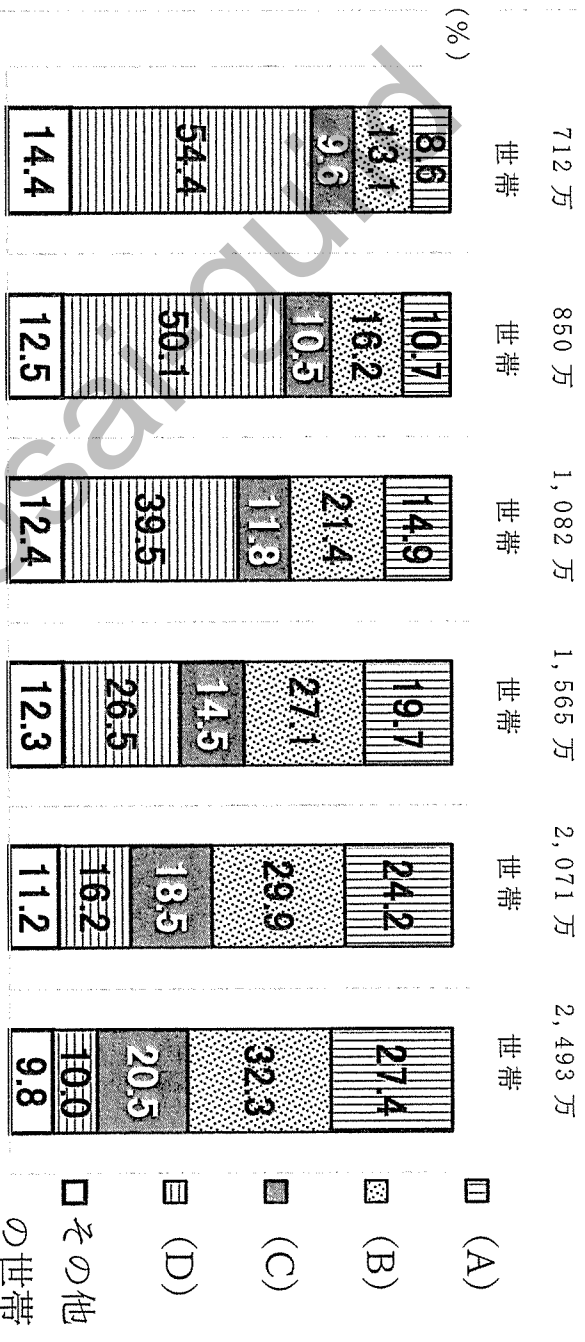
- ア うさぎマーク
- イ 人見知り
- ウ 伝承遊び
- エ 合同遊び
- オ 児童文化財
- カ 後追い
- キ 協同遊び
- ク 中間反抗期
- ケ S T マーク
- コ 第一反抗期

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	オ	ケ	キ	イ	コ
②	ウ	ア	エ	カ	ク
③	オ	ケ	エ	イ	コ
④	ウ	ア	エ	カ	コ
⑤	オ	ア	キ	カ	ク
⑥	ウ	ケ	キ	イ	ク

4 高齢者の生活と福祉、共生社会に関する次の設問(10)～(13)に答えよ。

(10) 産業化の進展、社会保障制度の整備、高齢者の自立意識の高まりなどによって、高齢者のいる世帯数と構成割合が変化している。次の(A)～(D)に適合する語句の組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

高齢者のいる世帯数と構成割合の推移



厚生労働省「2018年 国民生活基礎調査」ほか

	(A)	(B)	(C)	(D)
① 単独世帯	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世代世帯	親と未婚の子のみの世帯
② 夫婦のみの世帯	夫婦のみの世帯	単独世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世代世帯
③ 単独世帯	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世代世帯
④ 三世代世帯	三世代世帯	親と未婚の子のみの世帯	単独世帯	夫婦のみの世帯
⑤ 親と未婚の子のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世代世帯	夫婦のみの世帯	単独世帯
⑥ 夫婦のみの世帯	夫婦のみの世帯	単独世帯	三世代世帯	親と未婚の子のみの世帯

(11) 高齢社会の生活とそれを支えるしくみについて、次の(A)～(F)に適する語句を語群ア～コから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

日本の高齢者は、働けるうちはいつまでも働きたいと考える人が多く、欧米諸国に比べて就労意欲が高い。2012年に(A)法が改正され、希望者全員が65歳まで継続して働ける制度の導入が企業に義務付けられた。

1963年に(B)法が制定され、高齢期の生活の安定を社会全体でどのように支えるかについての基本方針が定められている。高齢者世帯の平均貯蓄額は、2000万円を超えているが、貯蓄のおもな目的は将来の生活不安への備えが主となっている。高齢者間の所得格差は大きく、高齢者の経済状況を一律に捉えることは難しい。

高齢者世帯の所得の約7割は(C)で占められている。高齢期は長期化する傾向にあり、加齢とともに病気や治療、さらには介護の課題がある。日常的に介護が必要な人は、厚生労働省の「2017年度 介護保険事業状況報告」によると、65歳以上人口の約(D)%であり、そのうち全面的な介護が必要で要介護5と判定される人の割合は約(E)%である。

また、身体的な支えを必要とする人の増加とともに、(F)のように、物事を判断する能力が十分でなくなるような病気をわずらう人の割合も上昇している。介護が必要になる年齢も高く、それにともない介護にあたる人の年齢も高くなり老老介護・認認介護と呼ばれるような現象が起こっている。

【語群】

- ア 高齢者雇用安定 イ 認知症 ウ 高血圧症 エ 10
 オ 18 カ 2 キ 公的年金 ク 稼働所得
 ケ 介護予防 コ 老人福祉

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
①	ア	コ	キ	オ	カ	イ
②	ア	ケ	ク	オ	エ	イ
③	キ	コ	ク	エ	カ	ウ
④	キ	ケ	ク	オ	エ	ウ
⑤	ア	コ	キ	エ	カ	ウ

(12) 共生社会に関する内容について、正しいものを、次の①～⑤の中からすべて選べ。

- ①一人ひとりが異なった価値観やライフスタイルをもち、お互いの違いを尊重しながらともに支え合う社会を「共生社会」という。
- ②同じ地域に住んで利害をともにし、生活文化や産業経済などで結びついている人々の集まりを「コミュニティ」という。
- ③狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、IoT（物のインターネット）、ロボット、人工知能（AI）等のサイバー技術の革新によってつくられる新たな社会を「Society4.5」という。
- ④障がいのある人もない人も区別なく同じように生活をおくることがふつう、あたりまえという考え方を「バリアフリー」という。
- ⑤他者や社会、および環境のために基本的に無償で自分の労力、知識、技術、時間、お金などを提供する自発的活動を「ボランテア活動」という。

kyosai-qa.com

(13) 生活と環境のかかわりに関する次の文の内容について、(A)～(E)に適する語句を語群ア～ケから選び、その組み合わせが最も適切なものを次の①～⑥の中から一つ選べ。

私たちは便利で快適な生活や経済的に豊かな生活をめざすうちに、大量の資源やエネルギーを使い生産されたものを大量に消費してきた。その結果、大量廃棄の問題、生活雑排水、限りある資源・エネルギーの枯渇、大気汚染や温暖化など自然環境に大きな負荷をかけている。資源を有効に使うために、新たな資源の投入を抑え、廃棄物をなるべく少なくする(A)と二酸化炭素の排出の少ない(B)の実現をめざし、生活を変えるときがきている。

(C)は、2030年に向けて国際連合において採択された持続可能な開発目標で、世界中の国々が協力して挑戦する大きな取り組みである。未来に向けて持続可能な環境を維持していくために(D)への対策、海洋汚染の防止、海および陸の生態系の保全・回復、廃棄物の発生的大幅削減、(E)の活用などが盛り込まれている。

国や国際機関の取り組みだけでなく、一人ひとりの参画が欠かせない。

- 【語群】 ア 再生可能エネルギー イ 環境負荷 ウ 気候変動
 エ 社会的包摂 オ SDGs カ 低炭素社会
 キ フュアトレード ク 循環型社会

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	カ	ク	オ	イ	ア
②	ク	カ	キ	ウ	エ
③	カ	ク	キ	ウ	エ
④	ク	カ	キ	イ	ア
⑤	ク	カ	オ	ウ	ア
⑥	カ	ク	オ	イ	エ

- （14）家計資産について、（A）～（G）に適する語句を語群ア～サから選び、その組み合わせが最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

生涯の三大支出といわれる（A）のように、ある程度の見通しが立ち、予測可能なものは、長期的な資金計画を立てて、貯蓄や運用などで備えるために家計資産のマネジメントができる知識が必要である。勤労者財産形成促進法に基づき勤労者が貯蓄や持ち家などの資産を取得できるように、政府や事業主が援助する（B）を活用するとよいとされている。

多様な金融商品の特徴を安全性や収益性、流動性の3つの面からみると（C）は元本割れがなく、安全性が高く収益性は低い。債権や株式、（D）は高い収益を上げる可能性をもっているが、元本の保証がないため安全性が低い。

資産には、現金や預貯金、有価証券などの（E）と土地や建物などの（F）がある。資産をもつ世帯の平均貯蓄額は（G）としている。

- 【語群】 ア 教育資金・住宅資金・老後資金 イ 教育資金・定期預金・老後資金
ウ 増加 エ 減少 オ 財形貯蓄 カ 公的保険
キ 多重債務 ク 普通預金 ケ 投資信託 コ 金融資産
サ 実物資産

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
①	イ	ケ	ク	オ	サ	コ	ウ
②	ア	オ	ク	ケ	コ	サ	ウ
③	イ	キ	オ	ク	コ	サ	ウ
④	ア	オ	ク	コ	サ	キ	エ
⑤	イ	ケ	オ	ク	カ	サ	エ
⑥	ア	キ	オ	ケ	カ	コ	エ

(15) 持続可能なライフスタイルを目指す上で、環境に配慮した製品やサービスが重要である。(A)～(F)に適する語句を語群ア～ケから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

持続可能な社会を実現するために、私たちのライフスタイルを環境に配慮したものと変革することが必要である。大量消費を見直すにあたっては、3Rのなかでもごみとなるものを減らす(A)が重要である。不要となった物も、できるだけ(B)して最大限活用し、最終的にどうしても活用できなくなったら(C)されるよう適正に処分する。

今後、温室効果ガスを排出しない社会を実現するためには、エネルギー消費量の(D)に取り組むことが重要である。

企業は、人権や環境などに配慮して活動し、社会や企業に関わる労働者、投資家などに対して責任ある行動が求められる。これを(E)という。また原料の生産から商品の生産、販売、廃棄までのすべての段階で商品が環境に与える影響を評価するライフサイクルアセスメントを行い、改善策を講じることが大切である。(F)が定めた管理手法ISO14001を導入する企業もある。

【語群】

- | | | | |
|---|----------------|---|---------|
| ア | CSR (企業の社会的責任) | イ | 削減 |
| ウ | CSV (共通価値の創造) | エ | エシカル消費 |
| オ | リサイクル | カ | リデュース |
| キ | リユース | ク | 国際標準化機構 |
| ケ | 日本産業規格 | | |

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
①	オ	キ	カ	エ	ア	ク
②	オ	カ	キ	イ	ウ	ク
③	カ	キ	オ	エ	ウ	ケ
④	カ	キ	オ	イ	ア	ク
⑤	カ	オ	キ	エ	ア	ケ
⑥	オ	カ	キ	イ	ウ	ケ

6

食生活に関する次の設問（16）～（19）に答えよ。

（16）食生活のあり方に関する次の文の内容について、（A）～（E）に適する語句を語群ア～コから選び、その組み合わせが最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

○国内にある食べ物のうち、日本の食料自給率（カロリーベース）（農林水産省「食料需給表」より）は、現在約（A）まで減少し、諸外国と比較しても非常に低い状態である。日本では自国で生産したもので足りる食料は（B）であり、他は輸入に頼っている部分が多い。

○自国や地域で生産される食材を活用することで輸送や保存に使うエネルギーを軽減することができる。同時に、農業の活性化につながるためフードマイルージの値は、（C）ものを使った方がよい。

○食材の買いすぎや食べ残しから発生する、食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）の量は、家庭からと食品関連業者からのものを合わせると約（D）にのぼる。

（農林水産省「食品ロスの現状（2016年度推計）」より）

○加工食品には賞味期限や消費期限が記載されていることから期限を過ぎた食品が廃棄されることも多い。賞味期限直前の食品や製造工程で規格外になった食品を無償で配布する取り組みを（E）という。

【語群】

ア 大きい イ 小さい ウ 20％
 エ 40％ オ フードバンク活動 カ LCA
 キ 大豆 ク 米 ケ 250万トン
 コ 650万トン

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	エ	ク	イ	コ	オ
②	ウ	キ	イ	コ	カ
③	エ	ク	ア	ケ	カ
④	ウ	ク	イ	ケ	オ
⑤	エ	キ	ア	ケ	カ
⑥	ウ	キ	ア	コ	オ

(17) 食品の性質に関する次の文の内容について (A) ~ (E) の説明が適切であれば○、適切でなければ×とし、その組み合わせが正しいものを、次の①~⑥の中から一つ選べ。

(A) マーガリンやショートニングなどの硬化油に含まれているトランス脂肪酸の摂取量が多いと、血液中のLDLコレステロール（悪玉コレステロール）を増加させる。

(B) いも類の構成成分の約70%は水分である。穀物に比べると長期の保存ができる。じゃがいもはでんぷん、繊維質を多く含むが、ビタミンCはほとんど含まれない。

(C) 牛乳に含まれるカゼインは酸やレンネットによって凝固し、120℃以上で加熱すると乳糖と反応して褐色になる。

(D) 卵は消化がよく、良質なたんぱく質と脂質を含み、各種ビタミン、ミネラルに富み、栄養的に優れた食品である。

(E) きこの類はビタミンB₂やナイアシン、また紫外線の作用でビタミンCに変化するエルゴステロールを多く含む。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	×	○	○	×	○
②	○	○	×	×	×
③	×	×	○	○	×
④	○	×	○	○	×
⑤	×	○	×	○	○
⑥	○	×	×	×	○

(18) 加工食品に関する次の種類について、その特徴に誤りがあるものを、次の①～⑤の中からすべて選べ。

種類	特徴	製品例
① コピー食品	異なる原料を用いて、本物の外観や風味を模造したものの。	カニ風味かまぼこ
② 即席食品	湯を加えたり、加熱したりするだけで食べることができるとの。	インスタントコーヒー
③ レトルトパウチ食品	加圧殺菌釜で加熱後殺菌したものの。缶詰と比べ加熱時間が長い。	カレー
④ 調理冷凍食品	調理済み食品を急速冷凍した後包装し-8℃以下で保存したものの。	コロッケ
⑤ 組立て食品	原料となるでんぷん、たんぱく質、食物繊維などを取り出し、これらを組み合わせて作られたものの。	コンビーフ

(19) 栄養素に関する次の文の内容について、(A)～(E)に適する語句を語群ア～コから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

○炭水化物を多く含む食品には穀類があるが、穀類の多くは水分が少なく貯蔵に適している。生のでんぷんを水と共に加熱すると、のり状になり味や消化がよくなる。これをでんぷんの(A)という。

○構造によって二重結合(不飽和結合)が二つ以上ある(B)は、リノール酸、リノレン酸、アラキドン酸があり、これらは体内では合成することができず、食品から摂取しなければならない。

○たんぱく質を構成しているアミノ酸には、体内でつくることができない(C)があり、食物から摂取しなければならない。

○食べ物の中には、身体の中に入ってからビタミンとして作用する物質に変わるものがあり、それらをプロビタミンという。カロテンは(D)のプロビタミンである。

○無機質に含まれる(E)は、日本人の食事摂取基準で15～19歳の推奨量が男性800mg、女性650mgであるのに対し、実際の摂取量はどちらも不足している。(厚生労働省「国民健康・栄養調査」2020年より)

【語群】 ア 必須アミノ酸 イ ビタミンE ウ ビタミンA

エ 糊化 オ 老化 カ カルシウム

キ 飽和脂肪酸 ク カリウム ケ 非必須アミノ酸

コ 多価不飽和脂肪酸

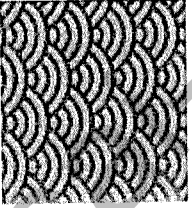
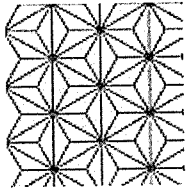
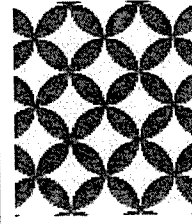
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	エ	キ	ケ	ウ	ク
②	オ	コ	ア	イ	ク
③	エ	コ	ア	ウ	カ
④	エ	キ	ケ	ウ	カ
⑤	オ	キ	ア	イ	ク
⑥	オ	コ	ケ	イ	カ

衣生活に関する次の設問 (20) ~ (23) に答えよ。

(20) 衣服の構造とデザインについて、(A) ~ (G) に適する語句を語群ア～サから選び、その組み合わせが最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

世界には、様々な民族服がある。人々が暮らす地域の (A) に適応し、民族が受け継ぐ文化の影響を受けて、現在の姿に形づくられている。例えば、インドで着用される (B) は、体に巻き付ける巻重型であり、空気が抜けやすく、熱帯で夏に雨の少ない気候に適した服である。

和服は日本古来の衣服で、夏の高温多湿の気候に応じて、(C) で開口部が多くゆったりとしている。反物と呼ばれる長く織られた生地を直線的に縫製している。和服は、季節に応じて色や柄、生地を変えて着用し、季節感を味わい楽しむことができた。下の表の文様の名称はそれぞれ、(D)・(E)・(F)・(F) である。

(D)	(E)	(F)
		

現在、日常着用している衣服は主に洋服であるが、(G) 時代に西洋から導入された衣服である。人体に合わせて布を裁断し、立体的な構成になっている衣服は人の動きにも着崩れしにくく活動的である。

衣服のデザインは、着用目的に合わせて、形・素材・色・柄などを選択し、デザインの目的に合わせた美的統一がとれるよう工夫をする。

【語群】

ア	明治	イ	大正	ウ	前開衣	エ	体型衣
オ	人柄	カ	気候風土	キ	ボンチヨ	ク	サリー
ケ	七宝	コ	麻の葉	サ	青海波		

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
①	カ	ク	ウ	ケ	コ	サ	ア
②	オ	キ	ウ	サ	ケ	コ	イ
③	オ	キ	エ	ケ	サ	コ	ア
④	カ	キ	エ	コ	ケ	サ	イ
⑤	カ	ク	ウ	サ	コ	ケ	ア
⑥	オ	ク	エ	コ	サ	ケ	イ

(21) 購入した衣服には、家庭用品品質表示法という法律に基づき、繊維の組成表示や取扱い絵表示等が付いている。【A】～【D】の表示を読みとり、正しいものを、次の①～③の中から三つ選べ。

【A】

羊毛	50%
アクリル	30%
ナイロン	20%

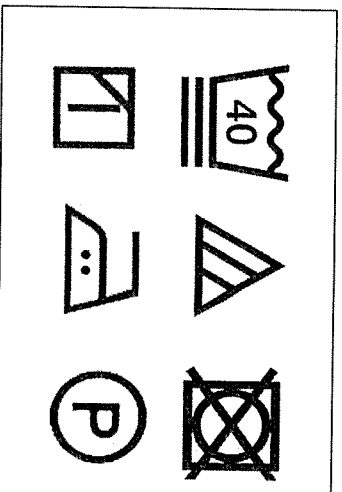
【B】

表地	羊毛	80%
	ナイロン	20%
裏地	キュプラ	100%

【C】

サイズ	
バスト	83
ウエスト	64
ヒップ	91
身長	158
	9AR

【D】



- ① 【A】は、組成表示の分離表示である。
- ② 【B】は、家庭用品品質表示法の性能表示である。
- ③ 【C】は、成人男子の寸法列記表示である。
- ④ 【C】は、サイズ表示で9ARの「A」は体型を指している。
- ⑤ 【C】は、サイズ表示で9ARの「R」は身長に対応した記号で表記している。
- ⑥ 【D】は、液温は40度を限度とし、通常の洗濯処理で酸素系漂白剤の使用可。
- ⑦ 【D】は、タンブル乾燥禁止で、日陰でのつり干しがよい。
- ⑧ 【D】は、ナイロンの底面温度は110度を限度とし、パークロロエチレン及び石油系溶剤によるブライクリーニングができる。

(22) 被服材料の特徴及び加工について適切でないものを、次の①～⑧の中から二つ選べ。

- ① 植物繊維の麻は、亜麻などが原料であり、冷感がある。伸びは小さく、しわになりやすい。主な用途は夏用衣料である。
- ② 再生繊維であるレーヨンは、天然のセルロースを原料とし、水にぬれると弱く縮みやすい。婦人服や裏地に用いられることが多い。
- ③ 合成繊維であるポリエステルは、石油を原料とし、強くてしわになりにくく、比較的熱に強い。
- ④ 再生繊維であるアセタートは、絹に似た触感や光沢、吸湿性があり、熱可塑性に優れている。
- ⑤ ポリウレタンは、伸縮性が非常に大きく、塩素に弱い。靴下や肌着、水着などに用いられる。
- ⑥ 天然繊維で光沢がある羊毛は、吸水性が大きく、紫外線で黄変しやすい。
- ⑦ 防炎・難燃加工は、燃えにくくする加工を施したもので、エプロンや軍手、シーツなどに用いられている。不特定多数の人が集まる場所に使われる繊維製品は法令により防炎物品を使用することが定められている。
- ⑧ 着心地がよく用途に合わせた機能を兼ね備えた機能性素材が開発され、身の回りでは、吸汗速乾素材、保温性素材、消臭抗菌素材など消費者の要求に合わせた素材が数多く使われている。

(23) 被服の洗濯、仕上げと保管について適切なものを、次の①～⑤の中から二つ選べ。

- ① 柔軟仕上げ剤は、親油基を外側にして繊維の表面に吸着するため、繊維同士のすべりがよくなり、ふんわりとなめらかな仕上がりになる。
- ② 繊維の種類に適したアイロン温度は、毛、絹、レーヨンは140～150度が適温である。アイロンがけは、適切でない温度でかけると生地 of 風合いを損ね、素材を傷めてしまうため、あて布をしたり取り扱い表示に従う。
- ③ 洗濯には、水と水溶性洗剤を使用する乾式洗濯（ドライクリーニンング）と、有機溶剤で洗う湿式洗濯（ランドリー）がある。
- ④ 洗剤の主成分である界面活性剤は、漂白、乳化・分散、再付着防止の作用があり、特に油性のよごれを落とすときに効果的である。
- ⑤ 次亜塩素酸ナトリウムが主成分である塩素系漂白剤は、すべての繊維に使え、色物、柄物にも使用可能である。

(25) 伝統的な日本の住居の特徴について、(A)～(E)の説明が適切であれば○、適切でなければ×とし、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。

(A) 畳の大きさは全国共通であり、畳の縦横比は1：2である。畳1枚分を「一畳」と呼び、六畳、四畳半など部屋の大きさを畳数で示す。畳2枚の面積を「一坪」と表すのは日本独自の文化である。

(B) 日本では、障子やふすまは建具と呼ばれ、外部との仕切りや部屋の仕切りに使われている。障子は外の光を取り入れ、ふすまは取り外すことで部屋がつながり、より広く使用できる。これらの建具を使って屋外の光や空気・風を取り入れたり遮断したりしながら、私たちは部屋を快適に保ちながら生活している。

(C) 日本の住まいは、地域の気候風土や歴史・文化とともに形づくられ、屋根、壁、柱、梁などの構造や材料、間取り、デザインなどに地域の特徴が見られる。高温多湿な気候に合わせて、勾配のある大きな屋根、深い軒の出、大きな開口部などの特徴がある。

(D) 日本の住宅では古くから床に直接座る「畳座」と呼ばれる起居様式をとっており、室内では靴を脱ぐことが多い。一方、欧米では靴を履いたまま室内に入り、テーブル、椅子、ベッドを置いたまま生活する「椅子座」と呼ばれる起居様式をとっている。

(E) 日本では、自然との結びつきを大切にし、四季を楽しむ住まい方をしてきた。近年は「縁側」で夕涼みをする、「雪見障子」で家の中から庭の雪を見て楽しむなど、日本独自の季節に合わせた住まい方の工夫や演出が少なくなってきた。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	○	×	○	×	○
②	○	○	×	○	×
③	×	○	×	×	○
④	×	○	○	×	○
⑤	○	×	×	○	×
⑥	×	×	○	○	×

kyosai-guild

令和5年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 高等学校 家庭

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	1・2・3	2	2・3・4	1	4	1・4・5	2	5	3	3

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	1	1・2・5	5	2	4	1	4	3・4	3	5

問題番号	21	22	23	24	25
正解	4・5・7	4・6	1・2	6	4

kyosai-guild